

Journal of Health Science 投稿規定

投稿論文は、その内容が未投稿及び未掲載であって、独創的な知見を含むものに限り、すべての著者は原稿の内容を理解していること、投稿について同意していることが必要です。なお、日本薬学会の会員以外からの投稿も受け付けます。

内容を十分に理解出来るネイティブスピーカーによって英文チェックを受けた後投稿してください。但し審査の結果によっては本学会での英文チェック（有料）を行います。

I. 論文種別

Regular Article, Rapid Communication, Research Letter, Review 及び Minireview があります。

1. Regular Article 著者の原著であり独創的研究によって得られた有意義な新知見を含む一般論文。本誌には Short Communication を設けていないが、完成度の高い論文であれば比較的短いものも Regular Article として採用する。
2. Rapid Communication 原則として刷り上がり 4 頁以内。審査に要する時間を極力少なくして、可能な限り速やかに採否の判定を行うことを目的とした論文である。著者への採否の連絡は、論文受付から 2 週間以内に行う。独創的な知見を含んでいれば、内容に必ずしも緊急性がなくても良い。判定は採用または不採用のどちらかのみとし、原則として著者に訂正を要求しない（内容の不備は著者の責任とする）。不採用の場合の理由説明はごく簡単にしか行わない。
3. Research Letter 原則として刷り上がり 3 頁以内。十分な考察はできないが興味深い現象、ネガティブデータが学術的重要性が高いと思われる知見、公表する価値は十分あるものの Regular Article としてはデータのに不十分な研究成果などを掲載する。健康科学に関連する新規遺伝子や転写調節領域の塩基配列なども対象とする。また、調査研究などで得られた資料的価値の高いデータを含む論文も Research Letter として掲載する。
調査研究において、比較的多量のデータを示す必要がある場合は必ずしも刷り上がりが 3 頁以内でなくても良い。
4. Review 及び Minireview 最新の興味深い科学的知見に関する総説で編集委員会が執筆を依頼する。主として著者らの最近の研究を紹介する総説を Minireview とし、それ以外は Review とする。Review は頁数に制限を設けないが、Minireview は刷り上がり 3 頁以内とする。

II. 審査

1. 投稿論文は、原則として 2 名以上の審査員の評価に基づき編集委員会が採否を決定します。
2. 原稿の改訂を求められた際には、修正依頼日から 2 ヶ月以内に「Online Submission」の「Author Login」からログインし、改訂原稿を提出してください。2 ヶ月を経過した場合には、審査打ち切りとなることがあります。

III. 投稿方法

原稿を PDF ファイルで作成し、本誌 web サイト (<http://jhs.pharm.or.jp>) の「Online Submission」から投稿してください。カバーレター、原稿、補足の 3 ファイルまで登録できます。

IV. 原稿様式

1. カバーレター
和文の連絡著者情報（連絡著者名、所属機関及び住所、電話番号、Fax 番号、E-Mail アドレス）、英文チェックを受けたネイティブスピーカーの名前または業者名を記載してください。
倫理委員会による承認書のコピーは 2 頁目以降に付してください。
2. 原稿
原稿は図、表も含めて 1 つの PDF ファイルで作成してください。
本文のフォントは Times New Roman の 12 ポイントを用い、化合物番号、数字はすべてアラビア数字を使用してください。用紙は A4 判（縦・横・併用可）を使用してください。
(1) 第 1 頁：誌名 (*J. Health Sci.*)、論文類別、論文表題、著者名（フルネーム）、研究時の所属機関、所在地、郵便番号を記入してください。連絡著者はその名前の右肩にアスタリスク (*) を付し、E-mail アドレスを記載してください。所属機関が現在と異なる場合は名前の右肩にダガー (†) を付し、脚注に現在の所属、所在地を記載してください。
(2) 第 2 頁：サマリー（250 語以下）及び 3～6 語のキーワードを記入してください。なお、最初の 3 つのキーワードを組み合わせてキーワードコンビネーション（合計 80 文字以内、スペース・カンマ含む）が作成されますので、語句の選定と順番（重要度の順番）にご注意ください。
(3) 第 3 頁以降：本文、謝辞、引用文献の順に記載してください。図・表は、本文中の適切な箇所に挿入してください。投稿論文の採用確定後、論文データを改めてファイルで提出していただきます。

V. 記載方法

1. 所属機関

著者の所属機関が複数の場合は、上付の *a, b, c, ...* を著者名の後および所属機関の前に付してください。

(例)

^a *Department of Molecular Biology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University,* ^b *Faculty of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University, Kita 12, Nishi 6, Kita-ku, Sapporo 060-0812, Japan,* ^c *Institute for Genetic Medicine, Hokkaido University, Kita 15, Nishi 7, Kita-ku, Sapporo 060-0815, Japan,* and ^d *Graduate School of Agriculture, Hokkaido University, Kita 9, Nishi 9, Kita-ku, Sapporo 060-8589, Japan*

2. 略語

サマリー、本文それぞれの初出時にスペルアウトし、直後に略語を () 内に示し、以下略語を用いてください。タイトル、キーワードにはできる限り略語を使用しないでください。定義しないで使用できる略語は次のとおりです。

ADP (adenosine 5-diphosphate), AIDS (acquired immunodeficiency syndrome), AMP (adenosine 5'-monophosphate or adenylic acid), ATP (adenosine 5'-triphosphate), cAMP (adenosine 3', 5'-cyclic monophosphate), cDNA (complementary DNA), CoA (coenzyme A), DNA (deoxyribonucleic acid), ED₅₀ (50% effective dose), ESR (electron spin resonance), FAB-MS (fast atom bombardment mass spectrometry), FAD (flavin adenine dinucleotide), GC-MS (gas chromatography-mass spectrometry), GLC (gas-liquid chromatography), GMP (guanosine 5'-monophosphate), HPLC (high-performance liquid chromatography, high-pressure liquid chromatography), IC₅₀ (inhibitory concentration, 50%), IR (infrared), LC (liquid chromatography), LC/MS (liquid chromatography/mass spectrometry), LD₅₀ (50% lethal dose), mRNA (messenger RNA), MS (mass spectrum), NMR (nuclear magnetic resonance), P450 (as in cytochrome P450), RNA (ribonucleic acid), TLC (thin-layer chromatography), tRNA (transfer RNA), UV (ultraviolet)

3. 単位

length (m, cm, mm, μ m, nm, Å), mass (kg, g, mg, μ g, ng, pg, mol, mmol), volume (l, ml, μ l), time (s, min, h, d), temperature ($^{\circ}$ C, K), radiation (Bq, Ci, dpm, Gy, rad), and concentration (M, mM, mol/l, mmol/l, mg/ml, μ g/ml, %, % (v/v), % (w/v), ppm, ppb).

4. スペクトル、元素分析等の記載例

¹H-NMR (CDCl₃) δ : 1.25 (3H, d, *J*=7.0 Hz), 3.55 (1H, q, *J*=7.0 Hz), 6.70 (1H, m). ¹³C-NMR (CDCl₃) δ : 20.9 (q), 71.5 (d), 169.9 (s). IR (KBr) cm⁻¹: 1720, 1050, 910. UV λ_{\max} (EtOH) nm (ϵ): 241 (10860), 288 (9380). UV λ_{\max} (H₂O) nm (log ϵ): 280 (3.25). FAB-MS *m/z*: 332.1258 (Calcd for C₁₈H₂₀O₆: 332.1259). MS *m/z*: 332 (M⁺), 180, 168. [α]_D²³ -74.5 (*c*=1.0, MeOH). *Anal.* Calcd for C₁₉H₂₁NO₃: C, 73.29; H, 6.80; N, 4.50. Found: C, 73.30; H, 6.88; N, 4.65.

5. 命名法

化合物の命名は、IUPAC 制定の命名規則に従ってください。しかし、*Chem. Abstr.* の索引の命名法ならびに Ring Index の命名法に準ずることもできます。

6. 引用文献及び注記

引用文献は、雑誌掲載論文、書籍・単行本、インターネット、技術報告、特許、講演等とします。これ以外は文章的な記述としてください。出現順に通し番号 (引用文献 1 件ごとに 1 つの番号とします) を付け、文中右肩に右片カッコ付きのアラビア数字で示し、番号順に並べて References and Notes として論文末尾に一覧表示してください。雑誌名の略称は *Chem. Abstr.* (参照: The ACS Style Guide. A Manual for Authors and Editors) に準じます。

(例)

- 1) Kubo, U., Hwang, G. H. and Suzuki, H. (2000) Cloning and functional characterization of copper transporter. *J. Health Sci.*, **46**, 135-140.
- 2) Albert, B. and Hardin, T. D. (1998) *Metal Toxicology in Mammals*, Madison Press, New York.
- 3) Meister, B., Revel, T. M. and Caprio, M. N. (1999) Molecular mechanism of cell death. In *Handbook of Health Science* (Clarke, A. and Young, T. A., Eds.), Carrie Press, Tokyo, pp. 135-137.
- 4) International Organization for Standardization, How ISO develops standards, http://www.iso.org/iso/about/how_iso_develops_standards.htm, cited 25 August, 2008.

引用文献の記載には、著者名は全員を記し、first 及び middle name のイニシャルを記載してください。論文本文中に記載される人名は姓のみ (2 名まで) とします。3 名以上は 1 名を記し *et al.* を付してください。

VI. X線結晶解析

結晶解析による構造が論文において重要な部分を構成するときには、審査のための補助資料として Cambridge Crystallographic Data Centre (CCDC) に登録するに必要なデータを添付してください。結晶解析が補助的に用いられる場合には crystal data (unit cell parameters, space group, Z density), R-factor を記してください。Atomic coordinates は、構造が重要なときに印刷されます。また、Bond lengths and angles, thermal parameters, torsion angles 等は論文の議論にとって重要な時に印刷されます。論文が採用の場合は、CCDC 登録をしてください。

VII. 核酸塩基配列

新規の核酸塩基配列は DDBJ, GenBank あるいは EMBL いずれかのデータベースに登録してください。論文が採用

